

附属学校園女性管理職による女性教員のための支援プロジェクト

(代表者) 柳本 朋子 (附属天王寺小学校長)・鈴木真由子 (附属平野中学校長)

(分担者) 小池 美里 (附属幼稚園副園長)・平山ちさと (附属池田中学校副校長)・

長江 京子 (附属特別支援学校副校長)・南山美智子 (附属学校課課長代理)・

千原 弘美 (附属学校課附属学校係長)

1. 目的

平成29年5月1日現在の附属学校園における女性教員比率は40.68% (男156人・女107人育児休業の代替教員は除く。)である。男性教員1人も平成27年度から育児休業を取得しており、ここ数年は毎年10人を超える教員が産前産後休暇及び育児休業を取得している状況である。

産前産後休暇・育児休業の人数

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
8人	8人	19人	15人	13人

本学規程では産前休暇取得時に代替教員を採用することができるが、産前休暇前の期間や育児休業復帰後には代替教員が採用されないため、女性教員にとっては精神的及び肉体的にも負担が多くなる状況となる。

そこで、産前休暇前または育児休業復帰後で子を養育する女性教員の補助として授業の教材の作成や運動会及び文化祭などの学校行事の準備、簡単なテストの採点など業務の一部負担を担う者を支援員(謝金)として雇用することにより女性教員の負担が軽減されることを目的として支援プロジェクトを計画した。

2. 支援方法

【附属幼稚園】

支援員(1人)が10月の運動会前の準備及び運動会でのプレゼントの包装作業・3月の保育修了証書授与式前の準備を担当

【附属天王寺小学校】

支援員(2人)が授業で使用する数学の教材及びワークシートの作成を担当

【附属池田中学校】

支援員(3人)がテストの採点・教材作成の補助・実習後の片付け、書類整理を担当

【附属平野中学校】

支援員(1人)が被服室の物品整理・調理室の清掃・実習後の片付けを担当

【附属特別支援学校】

支援員(4人)が小学部及び中学部で以下の業務を担当

- ・2月の雪あそび(六甲スキー場)での児童の活動支援補助(昼食やトイレ介助など)
- ・2月の研究実践報告会前日に子どもたちが行う清掃や準備の支援補助
- ・3月の卒業式準備(体育館など)で子どもたちが行う清掃や準備の支援補助

3. 結果

今回支援を受けた女性教員から以下の意見が寄せられており、結果として女性教員の負担が軽減され、ワークライフバランスを保つ環境整備の一助になったと言える。

- ・育児休業復帰後であったが支援員がいることにより職場で安心して働くことができ、保育所に預けている子の「お迎え」にゆとりを持って行くことができ、子に優しく接することができた。
- ・支援員が実習後の片付けをすることで負担が減りとても助かった。
- ・生徒に応じた課題があるため、支援員がいることで環境を整えて指導することが可能となり、助かった。

4. 今後に向けて

今回は女性管理職が在職している附属学校園で子を養育する女性教員に限定した支援プロジェクトを企画立案したが、男性教員から子育て支援を要請する声もあがったほか、育児だけでなく介護の問題を抱えている教員も男女問わず少なからずいると考えられ、今後は支援を拡大することができるような体制が望まれる。

また、文部科学省から「学校における働き方改革に関する緊急対策」が公表され、「学校における働き方改革」の実現に向けた環境整備が必要不可欠となり、本学においても「学校における働き方改革」への取組を進める必要が生じている時期でもあるので、大学・附属学校園が協力してこのプロジェクトを継続していきたいと考えている。